

電子メールによる取扱いの留意点

電子メールによる取扱いでは、保険会社または受注者がPDF発行証券（PDF形式で発行された保険証券等）を電子メールにより発注者へ送付し、発注者は受注者から受け取った契約情報および認証情報を用いて当該PDF発行証券を開封します。

保険会社がPDFで発行した保証証書を電子メールで受領する場合、以下の点にご留意をお願いいたします。

1. 保険会社メールアドレスの確認

メールでPDF発行証券を受領した際、当該PDF発行証券の発行保険会社が予め指定する共通窓口連絡先である特定の電子メールアドレスが c c に含まれていることを確認する（共通窓口連絡先一覧は本資料4ページに掲載）。

2. PDF発行証券の受け渡しフロー

PDF発行証券は①保険会社から発注者に直送するフローと、②保険会社から受注者を經由して発注者に送付するフローの2種類があり、取扱い保険会社により異なるが、①の場合においても、PDF発行証券の閲覧に必要な契約情報、認証情報は受注者から受けとる。

①保険会社から発注者に直送する方法	②受注者を通して発注者へ提出される方法
大同火災海上保険株式会社	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 共栄火災海上保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 日新火災海上保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社

電子メールによる取扱いの留意点

PDF発行証券の受け渡しフロー

① PDF発行証券を保険会社から発注者に直送する方法

※緊急の場合等、上記フローによることが困難な場合は、受注者は事前に発注者に協議をお願いします。

損保会社	代理店	受注者	発注者	やり取りの内容	ポイント
	(任意の方法で連絡) → (代理店経由)			①損保会社は、「発信メールアドレス」「証券番号およびPDF開封パスワード」を代理店を通じて受注者に連絡する。	・「証券番号およびPDF開封パスワード」はPDF発行証券送付の事前・事後を問わない。また、緊急の場合等においては、「証券番号のみ」の連絡とすることも可。
		(電子契約システム、メール等) →		②受注者は「(損保会社の) 発信メールアドレス」「証券番号およびPDF開封パスワード」を発注者に連絡する。	
		(メール) ←		③発注者は損保会社に「発注者側受信メールアドレス」を連絡する。	・以降のやり取り
		(メール) →		④損保会社は発注者にテストメールを送信する。	・「返信」機能を使う等、セキュリティが確保できている場合はテストメール不要。
		(メール) ←		⑤発注者は損保会社にテストメールの受信完了を連絡する。	
		(PDF発行証券をメール送付) →		⑥損保会社は発注者にPDF発行証券（パスワード付）を送信する。 (CCに「損保会社共通窓口アドレス」および「受注者」を入れる。)	・必要に応じ、「代理店担当者アドレス(or電話番号)」「課支社担当者アドレス(or電話番号)」をCCに入れ、真偽確認・発注者からの問い合わせをスムーズに行う。
			開封	⑦発注者は、受注者から受け取った「PDF開封パスワード」を用いてPDFを開封する。	・発注者は「損保会社共通窓口アドレス」がCCに入っていることを確認する（証券の内容に関する真偽の確認）。
	(任意の方法で連絡) → (代理店経由)			⑧保険会社は、送付完了した旨を代理店を通じて受注者に連絡。	・⑥のPDF発行証券の送信時に受注者がCCに入っている場合、左記のやり取りは省略することも可。
		(メール) ←		⑨発注者は受領確認メールを送付する。 (CCに「損保会社共通窓口アドレス」を入れる。)	

電子メールによる取扱いの留意点

PDF発行証券の受け渡しフロー

②PDF発行証券が受注者を通して発注者へ提出される方法

※緊急の場合等、上記フローによることが困難な場合は、受注者は事前に発注者に協議をお願いします。

損保会社	代理店	受注者	発注者	やり取りの内容	ポイント
		(電子契約システム、メール等) →		①受注者は「(受注者自身の)発信メールアドレス」を発注者に連絡する。	
		(メール) ←		②発注者は受注者に「発注者側受信メールアドレス」を連絡する。	
		(メール) →		③受注者は発注者にテストメールを送信する。	・「返信」機能を使う等、セキュリティが確保できている場合はテストメール不要。
		(メール) ←		④発注者は受注者にテストメールの受信完了を連絡する。	
		(PDF発行証券をメール送付) → (代理店経由)		⑤PDF発行証券をメールで送付(損保会社→代理店→受注者)する。	
		(PDF発行証券をメール送付) →		⑥受注者は発注者にPDF発行証券(パスワード付)を送信する。 (CCに「 損保会社共通窓口アドレス 」を入れる。)	・必要に応じ、「代理店担当者アドレス(or電話番号)」「 課支社担当者アドレス(or電話番号) 」をCCに入れ、真偽確認・発注者からの問い合わせをスムーズに行う。
		(メール) →		⑦受注者は発注者に「PDF開封パスワード」を送信する。	
			開封	⑧発注者は、受注者から受け取った「PDF開封パスワード」を用いてPDFを開封する。	・発注者は「 損保会社共通窓口アドレス 」がCCに入っていることを確認する(証券の内容に関する真偽の確認)。
		(メール) ←		⑨発注者は受領確認メールを送付する。 (CCに「 損保会社共通窓口アドレス 」を入れる。)	

電子メールによる取扱いの留意点

PDF発行証券を発行する保険会社の共通窓口連絡先

No.	会社名	共通窓口連絡先（電子メールアドレス）
1	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	e2t21@msad.ms-ad-ins.com
2	共栄火災海上保険株式会社	kyoei.hosyohoken@kyoeikasai.co.jp
3	損害保険ジャパン株式会社	sj-shokenmadoguchi@sompo-japan.co.jp
4	大同火災海上保険株式会社	keiyakukanri_hoshou_renkei@daidokasai.co.jp
5	東京海上日動火災保険株式会社	tmnfbond36@tmnf.jp
6	日新火災海上保険株式会社	wkg.hosyo24@nisshinfire.co.jp
7	三井住友海上火災保険株式会社	msbond_a3ev@ms-ins.net

※証券内容に関する照会は、上記共通窓口連絡先ではなく、各会社の取扱営業店へ御確認ください。